

事後評価結果（平成17年度採択）

| 番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価 |
|------|---------------------------------|----------------------|----|
| 17-2 | 市民参画型道路計画体系の提案と道路網計画における対話技術の開発 | 東京工業大学大学院教授 屋井 鉄雄 | B |

< 研究の概要 >

道路構想段階における計画の説明力を向上させるため、対象計画道路と全体道路網計画の論理的関係を明らかにした上で、それらを適切に伝えていく市民参手法、対話支援システムを研究開発する。

< 主な研究成果 >

- ・ 論理的・手続き的整合性を高めた計画体系の作成
- ・ 地域交通計画・道路網計画における新たな市民参画の方法論の提案
- ・ 自然言語処理技術と交渉理論を応用した対話支援システムの構築

< 事後評価結果 >

道路事業における計画体系のあり方や計画策定への市民参画について、海外の先進事例を踏まえ、市民意見の反映、市民参加の新手法開発などについてとりまとめられており、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。

< 参考意見 >

- ・ 対話支援システムの開発においては、心理学やコミュニケーション論の知見を活用できることから、今後、これらを活かした実践的なシステムを開発されることが期待される。